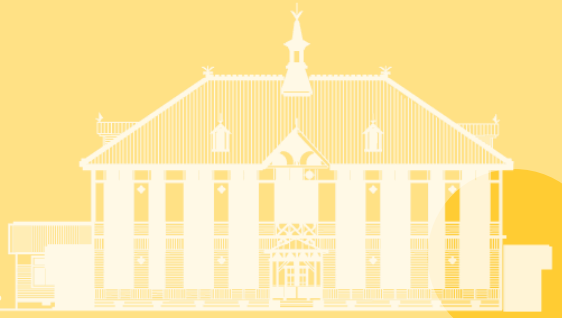


Narajoisic

October 2023 vol.72

Narajoisicでは奈良女子大学内での活動を報告しています。



留学生からのメッセージ 奈良女子大学での留学を終えて

海外から留学にきていた学生が奈良女子大学で過ごした感想を寄せてくれました。

「奈良女子大学で過ごした感想」

奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科 博士後期課程
比較文化専攻
Camila Torres Bianchini

アルゼンチンから奈良女子大学に留学して5年半が経ちました。この間、たくさんのことを学び、素敵な思い出を作ることができました。最初は留学生と一緒に日本語の授業を受けていたときに、修士論文を日本語で書けるかとても不安でしたが、最終的には成功し、博士論文も書くことができました。



私は2つの異なる学科に在籍していたので、異なるグループや専門分野を知ることができ、とても充実した経験を積むことができました。コロナウイルスが発生したとき、私は家族と離れていたため少し寂しく感じましたが、当時は誰もが少し寂しいと感じていたと思います。修士課程の研究は、日本における合気道の流派の違いを明らかにすることを目的としていましたが、パンデミックのためにフィールドワークや見学ができなくなり、文書研究に転向しました。その後、博士課程でも歴史的なアプローチでこの研究を続けました。

奈良での生活は、静かであると同時に活気があり、とても気に入っています。鹿が大好きで、キャンパスでもよく見かけました。私の留学期間では、勉強だけでなく、小学校で英語教えるなどの経験もつむことができました。大学の合気道部にも入らせていただき、とても楽しく、喜びを感じる経験をしました。大学でできた友達とは、未永く続き、将来アルゼンチンに遊びに来てくれることを願っています。この場をお借りして、私の卒業を可能にくださり、優しさで毎日私を元気づけてくださった大学の皆さんにお礼を申し上げたいと思います。



先生方、クラスメート、国際関係と学務課など事務の方々、図書館の方々、正門の警備員さん等々。とても貴重な経験をさせていただき、一生の宝物になりました。私のこれからの仕事と人生にも力になると思います。日本、皆さん、心からありがとうございました。

トレス・ピアンチニ・カミラ



Inside This Issue

- 留学生からのメッセージ
- 交換留学 帰国後レポート
- 夏休み海外研修プログラム
- 留学生交流イベント
- CotoQueイベント
- 今後の予定

交換留学 帰国後レポート

交換留学で海外の協定校へ留学していた学生の皆さんの帰国後レポートから、留学の様子を少しだけ紹介します。もっと詳しく知りたい人は国際戦略センターで帰国後レポートを閲覧できます。みなさんも交換留学に挑戦してみませんか？

文学部人間科学科心理学コース
前口 梓さん

留学先：トリアー大学（ドイツ）
心理学科

期間：2022/9—2023/7

宿泊先：大学寮（一人部屋）

留学先の町の様子は？

治安は良い方だと思います。大学の周りはとても落ち着いており、街に降りるとそれなりににぎわってはいますが、他の大都市のようではありません。モーゼル川はとても大きく、ワイン用のブドウ畑がたくさんあり、自然を感じることができます。冬は基本的に暗く、なかなか晴れません。バスが多く通っており、移動はしやすいです。たまにアジア人差別を受けますが、それによって不利益を被るようなことはありませんでした。外国人が多いこともあり、扱いの差を感じたことはありませんでした。

現地で参考になった情報源は？

<https://doitsu-ryugaku.jp/>
上記のサイトをよく閲覧していました。ビザやその他のことについても詳しく書いてあります。

同じ大学に留学を希望する人へアドバイスがありますか？

トリアー大学は日本人が過ごしやすい場所だと思います。他の留学生とも交流ができ、ドイツ語のコースも充実しており、日本に興味のある学生が多いです。最初は不安かもしれませんが、勇気を出していろんなことにチャレンジすることをお勧めします。

現地での最大のトラブルは？

滞在許可証が、期限の6カ月過ぎてももらえなかった。電話をかけた回数何回か窓口に行ったりしたら最終的にもらえました。

その他感想など

トリアー大学では、他の留学生との出会いがとても多く、語学学習の好きな私にはとてもよい環境でした。食事については個人的に口に合いませんでした。周りは自然に囲まれており、友達と散歩をすることなどもとてもいい思い出になりました。授業も留学生への配慮もあり、心理学のテストは結構大変でしたが、頑張っただけで勉強すればドイツ語以外の授業の方が最終的にドイツ語力のアップにつながったと思います。

文学部 言語文化学科
犬飼 明日香さん

留学先：国立台湾大学（台湾）
文学院 日本文学系

期間：2022/9—2023/6

宿泊先：アパート（一人部屋）

ある程度ドイツ語ができるようになったら、1人で出かけたり、何かをすることも楽しく感じるようになりました。

自分にとっては気候が体調不良の原因になりやすく、特に冬は毎月体調を崩していたため、薬の準備や対策をもっとしておけばよかったと後悔しました。

現地で参考になった情報源は？

日本台湾交流協会のホームページ
台湾大学日本人会のInstagram

留学先の町の様子は？

私個人としては台湾は日本よりも治安はいいなと感じました。カフェなどでもノートパソコンを置いたまま席を立っていくことが普通くらい窃盗は少ないですし、犯罪に巻き込まれたという友人や知り合いもいませんでした。気候については、台湾には暑いイメージがあり冬もそこまで寒くないと思われがちですが、台北の冬は結構冷え込みます。冬になっても湿度があるので日本とはまた違った寒さですが、冬はダウンを着ますしカイロも持って外出していました。台湾には暖房はないので、服をたくさん重ね着して寒さをしのいでいました。

生活における利便性は台北に住んでいると日本とそこまで変わらないという印象を受けました。コンビニも街のいたるところにありますし、公共交通機関もしっかりと整備されています。

外国人への態度は、私が日本人であるので何とも言えないというのが正直な感想です。台湾の方々には日本人に対してとても好感をもってくださるので、日本人というだけでいろいろサービスしてくれたり親切にしてくれたりする場面が何度かありました。

現地での最大のトラブルは？

あまり思いつきませんが、あえて挙げるなら家の水が一日止まったことです。一人暮らししていた時のことですが、私が住んでいる建物の問題で修理に一日かかるということで一日中水が一切出ませんでした。日本の不動産屋さんを経由して賃貸した部屋だったので、不動産屋さんが生活用の水を持ってきてくれるなど対応してくださりました。

同じ大学に留学を希望する人へアドバイスがありますか？

留学は短期間の旅行と違って、慣れない土地で「生活」することになるので、それなりにハプニングや辛いこともあります。台湾に暮らす人々はとても親切にしてくれるので困ったときは中国語でも日本語でも言語関係なくSOSを出すことが大事だと思います。

また、台湾の大学はあまり手厚いサポートは受けれないと思っていた方がいいです。わからないこと、不安なことがあれば遠慮なく国際課や留学担当者にメールを送ったり直接聞きにいったりするべきだと思います。

文学部人間科学科心理学コース 安本 紗理 さん

留学先：梨花女子大学（韓国）
文学部 日本文学系
期間：2022/8—2023/6

宿泊先：大学寮（二人部屋）

現地で参考になった情報源は？

コネスト、個人ブログ、
個人YouTube、SNS

現地での最大のトラブルは？

年末にコロナウイルスに感染したこと。保険会社や寮の事務室に電話して指示を受け、大学の無料PCR検査場でPCRテストを受けた。陽性が出てからは、寮の指示通り近くの隔離棟へ移動し、（なぜか）相部屋で1週間隔離生活を送った。自分で買った風邪薬代以外、費用はかからなかった。風邪や病気の時は、誰かに頼ることが一番。保険会社や大学に相談することはもちろん、友達の助けも借りる。私の場合、ルームメイトも友達も帰国していて韓国におらず直接は難しかったが、以前コロナにかかった友達に隔離の際に必要なものなどを教えてもらうなど助けてもらった。

その他感想など

私は本当に台湾に留学してよかったと感じています。私はもともと大学2年生の秋学期から台湾に留学する予定でしたがコロナの関係でかいませんでした。当時、4年間で卒業することしか考えていなかった私は学費のこと就職のことたくさん迷いましたが、やはり学生のうちに若いうちに留学したいと思い、1年留学時期を遅らせました。その時の判断は間違っていなかったなと感じています。実際に渡航し、台湾の社会に触れ、たくさんの人たちと交流し、いろいろな価値観を知ることができました。この時期に留学したことで、自分自身のキャリアについても選択肢が増えたように思います。今までの項目にも書いたかもしれませんが、台湾には日本人が多く歴史の関係で日本語を話せる現地の方もいるので、正直中国語を使わなくても生活できてしまいます。そのため「留学中はせっかくだから日本人との交流は避けたい・・・」とされている方には不向きな国かもしれないです。私も渡航当初は中国語を話せるようになりたいと考えていましたが、言語の上達は現地で自分がどのようなコミュニティに参加して、どのような生活を送るか、自分の選択にかかっていて日本人が多い少ないはあまり関係ないと思うようになりました。また、そんな国だからこそ臆さずにいろいろな活動に参加できたり、いろいろな場所に顔を出したりできたなと感じています。

長々と書きましたが、もし留学に行くかどうか迷っているなら絶対に行くことをお勧めします。もちろん費用はある程度必要なことなので、行きたい！すぐ行く！ということにはかなわないかもしれませんが、奨学金などもありますいろいろな方法があります。迷っている部分が卒業時期や就職の部分が大きいなら、絶対に留学に行った方がいいと思います。留学先ではいろんな人に出会えます。社会に出る前にこういった経験ができてよかったと心からよかったです

留学先の町の様子は？

- ・梨大周辺は学生街なので比較的治安は良く、隣の新村よりも静かな雰囲気です。また、地下鉄2号線が最寄り、中心部にも近いので外出するのに便利。
- ・夏は暑く、冬は寒い。雪はあまり降らない。昼と夜で寒暖差が激しめ。韓国全体的に大気汚染がひどい日があるので、天気予報をみてマスクをつけるなど対策必須。
- ・外国人だからといって苦勞したり嫌な思いをしたことはほとんどなかったが、たまに不親切だと感じることはある。日本人なので外見で判断されたり差別されることは正直少ない。また、街中や大学内で慰安婦問題について抗議している人や文面を目にすることはある。

同じ大学に留学を希望する人へアドバイスがありますか？

- ・大学でやりたいこと、留学先の国でやりたいことを明確にさせておくこと充実した留学生活になると思う。その大学の特徴的な分野や授業、その国だからこそ勉強したいことを考えると留学に来て最初に迷うことはないと思う。（やっていくうちにまた迷うことは当然あるかもしれない。）また、留学中に行きたいところ、やりたいことも具体的に考えておくこと実現しやすい。半年でも1年でも時間は思っている以上にすぐ過ぎる。
- ・韓国語は生活や授業で十分伸びるので英語をしっかり準備しておくことをおすすめする。留学生同士のコミュニケーションも上手いくし、授業の課題や試験でも英語での解答は許容される場合が多い。また、韓国大学生の英語のレベルも高い。英語をしっかり勉強しなかったことを一番後悔している。

その他感想など

もし留学を悩んでいるのであれば、どんな理由であれ一度挑戦してみたいです。ありきたりな感想にはなりませんが、外の世界に出ると自分たちがどれだけ狭い世界の中で暮らしていたのかを知ることができるし、反対に日本だからこその良さに気づくことができます。私はこの留学を決めるとき、行くにあたって真つ当な理由を無理やり作るうとしていました。前でも述べたように目的をもっていくことはもちろん大切なことですがそれを無理に作らなくとも、留学を通しての発見や学びはたくさんあると伝えたいです。自分の将来に悩んでいた、何をやりたいのかの答えを出しきれない人こそ留学に行き視野を広げてみてください。きっと手がかりが見つかると思います

夏休み海外研修プログラム

夏休み期間中に渡航型・オンライン型の海外研修を実施し、たくさんの奈良女子大学生・留学生在が研修に参加しました。

7/17-7/21 サマープログラム **万葉**

2023年度サマープログラム「万葉」国際キャンパス奈良を開催し、ルーベン大学、ハノイ大学、東海大学から5名の留学生在が参加しました。詳しくはこちらの特別号で！



8/19,20,26,27

そらみつ オンラインプログラム

海外協定校で日本語を学習中の学生を対象としたオンラインプログラム「そらみつ」を開催しました。フランス・ドイツ・中国・インドネシア・ベトナム・台湾・韓国からの学生が参加し、奈良と日本の伝統・文化についての理解や、また奈良女子大学生とオンラインで交流通じて日本語を学習しました。本年度は20名の学生が修了しました。



8/20-9/2

グローバル女性人材養成プログラム **セブ島**

2023年度グローバル女性人材養成プログラム(フィリピン セブ島)を実施し、奈良女子大学から15名が参加しました。今回の研修では、QQEnglish セブ島ITパーク校で、14日間のマンツーマンの英語レッスンを受けてきました。詳しくはこちらの特別号で！



8/27-9/10

Nara ISC 研修

Nara ISC合同研修、ハワイとオーストラリアの2つの渡航先に分かれてプログラムが実施されました。ハワイ研修には15名が参加しました。



8/28-9/1 NZ
8/28-9/1セブA
9/11-9/15セブB

オンライン 海外研修

今年も夏休みオンライン海外研修を実施しました。研修先は、ニュージーランドはリンカーン大学、セブ島A・BはQQ Englishでした。

8/26-9/4
オーストラリア
(ケアンズ) 研修

留学生交流イベント・CotoQueイベント

Nara ISCでは留学生とのさまざまな交流イベントを企画し実施しています。今年度は地域を巻き込んだ新しいイベントもあり、交流の幅が大きく広がりました。

English Open Talk

6/20(火)、7/26(水)、奈良女子大学生だけでなく、地域の方も参加対象としたEnglish Open Talkを開催しました。大学内外からの参加でしたが、開始から終わりまでとても賑やかな雰囲気でした。7/26開催回はチッタゴン大学の学生10名が参加しました。



6/20(火)@奈良カレッジ交流テラス



7/26(水) チッタゴン大学が参加

みんなでわいわい！世界の願いを読み解こう！～七夕の多言語短冊にこめられたもの～ (協力：奈良市東向商店街協同組合・奈良カレッジ連携推進センター)

8月10日(木)、奈良女子大学学生・奈良教育大学学生・一般参加者を対象にした、多言語で書かれた七夕短冊を読み解くイベント、「みんなでわいわい！世界の願いを読み解こう！～七夕の多言語短冊にこめられたもの～」を、奈良カレッジ交流テラス(奈良女子大学)にて開催しました。様々な言語で書かれた短冊を読み解く作業は異文化理解を深めるものとなり、意見を出し合うことで参加者の方々の交流も活発に行われ、会場内が常に活気のあるイベントになりました。



イベントの様子はこちら



CotoQue Event

CotoQueでは、いろいろな国の言葉や文化に触れられるイベントを行います。

イベント以外の時間も、日本人学生や留学生が気軽に集い、交流を行う場として活用できます。

CotoQueは、学内でここに来たら国際的なもの(言語・文化)に触れられる！という空間になります。

キーワードは「グローバル」「多言語」「異文化理解」そして何よりも「楽しく！」Have fun in CotoQue!

着て学んで楽しむ 浴衣の会

8/23(水)、浴衣の会を開催しました。茶道教室の樽井先生にご協力頂き、参加者は、浴衣の歴史についての話を聞いた後、先生に着付けとヘアメイクをしてもらいました。後半は、個人写真の撮影や、中庭を散歩をして浴衣を楽しみました。参加者からの感想をご紹介します。

◇浴衣の会を通して、初めて浴衣の起源、歴史と着方を説明してもらいました。以前は、浴衣はただ着物を簡単にした衣服ではないだろうかと思いましたが、今蒸し風呂から始まったものだと知りました。着方、帯の結び方も詳しく教えてもらいました。特に、色々な綺麗な帯の結び方を見て、楽しんでいます。髪スタイルまでやってもらって、たくさんきれいな写真を撮ってもらって、本当に楽しかったです。先生たち、どうもありがとうございました。



生花教室

2023年6月21日(水)、N棟201教室にて「いけばな教室」を開催しました。イベントに参加した留学生、奈良女子大学生は、先生からの「いけばな」についてのお話の後、先生がご用意してくださったお花で、グループに分かれて作品を仕上げました。参加者からの感想をご紹介します。

◇班で色合いや配置を相談しながら一つの作品を作り上げていくのが楽しかったです。作った後に先生から講評をいただけたのが嬉しかったです。改善点を挙げてくださって、とても勉強になりました。◇生け花には初めての挑戦でしたが、皆さんと協力して生けるのはとても楽しかったです。班ごとに、違った雰囲気があり、お互いに鑑賞するのもおもしろかったです。◇先生の紹介を聞いたり、生け花をつくったりすることができてとても楽しいです。また日本人学生やほかの国の方とコミュニケーションできてうれしいです ◇I love flower arrangements and I wanted to become as creative as my mom. I was surprised that we got to arrange a very beautiful flower and I think that the flower's prices were expensive. we worked together in a team and combined our creativity to make a beautiful arrangement. but I hope that if they want to organize this lesson in the future I prefer to do this lesson individually. thank you very much.



留学したい!と思ったら

まずこちらをcheck!



希望の留学先を決めたら



具体的に相談したい! 相談フォームはこちら



年に一度は国際交流を楽しもう!

奈良女子大学では、在籍中のすべての学生が、毎年1回以上の国際交流活動に参加することを推奨しています。国際交流活動をするとポイントがもらえます! 国際交流イベントに参加したら、LMSの「奈良チャレンジ活動」に登録しましょう!

奈良チャレンジ活動についてはコチラ



2023年度 センター及び国際課の活動と活動予定

7/10	CotoQueイベント English Open Talk	8/26	オンラインプログラム「そらみつ」-8/27
7/11	CotoQueイベント 中国語オープントーク	8/27	海外合同研修(ハワイ)-9/10
7/12	CotoQueイベント 茶道教室	8/28	夏休み!海外オンライン研修(セブA)-9/1
7/17	サマープログラム「万葉」-7/21		夏休み!海外オンライン研修(NZ)-9/1
7/24	English/German OT Open Talk	9/11	夏休み!海外オンライン研修(セブB)-9/15
7/26	CotoQueイベント English Open Talk	9/28	国際戦略センターキックオフシンポジウム
8/19	オンラインプログラム「そらみつ」-8/20		* * * 以下予定 * * *
8/20	グローバル女性人材養成プログラム (フィリピン)研修 -9/2	10/3	10月新入留学生オリエンテーション
8/21	留学生のための国際交流インターンシップ -9/22	10/11	CotoQueイベント 万国御菓子博覧会
	TOEFL対策講座 -8/22	10/18	春休みニュージーランド研修説明会
8/23	CotoQueイベント 浴衣の会		CotoQueイベント 韓国語オープントーク
		10/25	CotoQueイベント 中国語オープントーク

奈良国立大学機構 Nara Isc 国際戦略センター

NEWSLETTER Vol.72 2023年10月発行

〒630-8506 奈良市北魚屋東町

TEL: 0742-20-3736

Email: iec@cc.nara-wu.ac.jp